

第150回 医療技術者研修会

慢性腎臓病における薬の使い方

講師：平田 純生 先生

(熊本大学薬学部客員教授)

主催 一般財団法人東京保健会 病体生理研究所

【講演要旨】

慢性腎臓病（CKD）は日本人成人の8人に1人が罹患しており、透析導入原因疾患は糖尿病、腎炎、高血圧などがあり、CKD患者は心不全などの心血管病変や感染症を合併しやすくなり、腎機能が低下するほど腎排泄型薬物の中毒性副作用や薬剤性腎障害が起こりやすくなる。

そのため有効かつ安全で、目の前の患者さんに配慮した最高の薬物療法を提供することが薬剤師の存在意義と考えている。我々の使命は①腎機能低下患者の中毒性副作用の防止、②薬剤性腎障害の防止、③薬物療法によるCKDの発症・重症化予防、心血管合併症の予防、④透析患者の合併症に対する最適な薬物治療の提供、⑤用量設定に必要な腎機能の正確な評価と考えている。特に近年、超高齢者大国となった日本では加齢とともに腎機能が低下し、筋肉量も減少するため、筋肉のクレアチン由来の腎機能マーカーの血清クレアチニン値はサルコペニア高齢者では信頼できない値になることに注意が必要だ。

【日時】2021年3月6日（土）午後3時～5時

【会場】ワイム貸会議室お茶の水 Room B 【参加費】無料

【講師】平田 純生 先生 [熊本大学薬学部客員教授]

【定員】会場参加 26名 Web参加 100名（接続数）

（できるだけWebでの参加をお勧めします）

申し込み方法

1、下記の申込書にもれなく記入のうえ、会場希望またはweb希望のいずれかを区分し、研修会の期日と開催回数を明記し、FAXまたはメール(seminar@byotai.or.jp)でお申し込みください。（記入もれがある場合、返答ができません。あらかじめご了承ください。）

2、申込者へは順次、受講申込の返答をFAXまたはメールで送付いたします。

*定員到達後の申込者へは「締切済」通知をFAXまたはメールで送付します。先着順で締め切ります。あらかじめご了承ください。

2021年3月6日（土）「第150回 医療技術者研修会（平田純生先生）」受講申込書

| 勤務先の名称 | 職種 | 氏名（フリガナ付） | 会場希望 | web希望 |
|----------------|----|-----------|------|-------|
| 勤務先の住所 〒（ ） | | | | |
| FAX番号 （ ） | | | | |

申込先 〒173-0032 東京都板橋区大谷口上町 26-2 (財) 東京保健会病体生理研究所 医療技術者研修係

問い合わせ用 TEL 03 (3956) 4120

申し込み用 FAX 03 (3956) 4102

講師

ひらた

すみお

平田 純生 先生

熊本大学薬学部客員教授

【略歴】

1977年3月 大阪薬科大学薬学部薬学科 卒業
1977年4月 白鷺病院(大阪市)に入職
2004年9月 九州大学博士課程において薬学博士取得
2006年4月 熊本大学薬学部臨床薬理学分野教授
2020年4月 I&H株式会社(阪神調剤グループ)学術顧問・熊本大学薬学部客員教授

【関連著書】

腎不全と薬の使い方 Q and A 第2版(じほう:編著)
第3版腎機能別薬剤投与量ポケットブック(じほう;編著)
透析患者の投薬ガイドブック改訂3版(じほう:編著)

【所属学会】

日本腎臓病薬物療法学会監事
日本医薬品安全性学会副理事長(医薬品安全性指導者・医薬品安全性専門薬剤師)
日本腎臓財団評議員
日本医療薬学会代議員(日本医療薬学会指導薬剤師)

会場案内 ワイム貸会議室お茶の水 Room B

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 2-1-20 お茶の水ユニオンビル 4F

交通機関

JR 総武線・中央線「御茶ノ水駅」御茶ノ水橋口 徒歩2分

地下鉄東京メトロ丸の内線「御茶ノ水駅」2番出口 徒歩3分

〃 千代田線「新御茶ノ水駅」B1番出口 徒歩4分

注記：本財団は個人情報保護法を遵守し、申込書に記載頂いた情報は、本研修会に係る受付・運営のみに利用いたします。申込の内容に関する照会・修正等につきましては左記「医療技術者研修企画係」へ御連絡をお願い致します。

